

流域治水の取組状況について

1 取組概要

気候変動の影響による豪雨災害の激甚化・頻発化

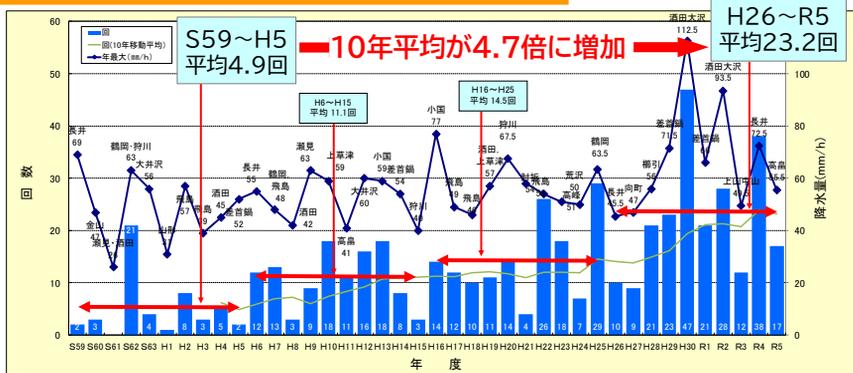
県内においても毎年のように豪雨による災害が発生!!!

平成30年8月豪雨

令和元年東日本台風

令和2年7月豪雨

令和4年8月大雨



県内における1時間降雨量30mm以上の発生回数及び年間最大1時間降水量の推移 (S59~R5)

- 国・県・市町村等で構成する「流域治水協議会」を設立し、水系毎に「流域治水プロジェクト」を策定
- 流域のあらゆる関係者が協働し、ハード・ソフト一体となって、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進

「流域治水」取組の3つの柱

取組みの柱	(1) 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす (主にハード対策)	(2) 被害対象を減少させる (主にソフト対策)	(3) 被害の軽減、早期復旧・復興 (主にソフト対策)
対策内容	(河川区域) <ul style="list-style-type: none"> 河川整備 流下能力向上・持続化対策 遊水地改良 等 (集水域) <ul style="list-style-type: none"> 利水ダムにおける事前放流 森林整備・治山対策 水田貯留 等 	<ul style="list-style-type: none"> 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成および居住誘導 土地利用規制・誘導 家屋移転、かさ上げ補助制度創設 雪対策との連携(高床住宅) 等 	<ul style="list-style-type: none"> 水害リスク情報空白域の解消 可搬式排水ポンプの配備 防災教育の推進 マイ・タイムラインの普及促進 雨量・河川水位情報の発信 まるごとまちごとハザードマップ 要配慮者利用施設の避難計画作成 広域連携による避難体制強化 等

特定都市河川の指定 ▶▶ 法的枠組みを活用した「流域治水」の本格的な実践

2 令和4年8月大雨により被災した河川施設の復旧状況

- 大規模な溢水被害が発生した萩生川・小白川
- ▶▶ 再度災害を防止するため、令和7年度完成を目標に河道拡幅・蛇行の是正による「改良復旧」を実施

令和5年度までに
9割の区間で工事着手9工区中1工区完成



完成状況(小白川)



施工状況(萩生川)



改良復旧工事箇所図

- 上記以外で被災した河川管理施設129箇所 ▶▶ 令和6年度完成を目標に復旧

令和6年5月までに106箇所(8割)が完成

3 取組状況

I 県の河川整備の状況

➤ 近年洪水に対し浸水被害の解消を図るため、国土強靱化予算等を活用し、概ね**10年(令和2年度～11年度)**で**37河川39か所**について集中的に河川整備を実施中

令和5年度までに8か所が完成

➤ 流域治水に係る**情報発信**として、河川整備の進捗状況を県ホームページに掲載(令和6年4月)

進捗状況の見える化

吉野川(よしのがわ) / 南陽市 進捗状況 【令和6年3月】 **8** [工事] 進捗率 **81%** うち、流域治水プロジェクト整備 **8** [工事] 進捗率 **60%**

拡大

37河川39か所について箇所ごとの進捗状況を公開

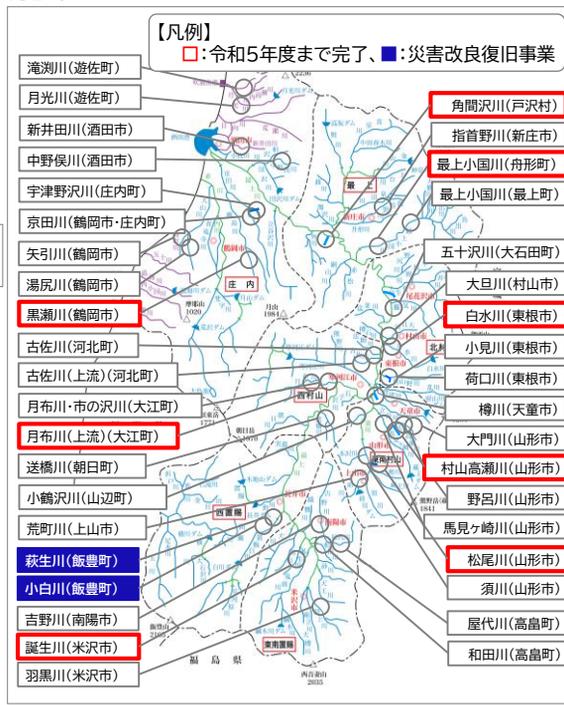
▼県ホームページに掲載する河川整備進捗状況をQRコードからアクセス可能

河川整備計画断面図(流域管理区間から上流1km)

進捗状況

- 事業着手: 平成25年度
- 延長: 約9,000m
- 整備内容: 築堤、引込、河道閉塞を解消
- 平成25年度、26年度と2年連続で南陽市内の広い範囲で最大な浸水被害が発生(10月15日浸水177戸、最大浸水1,466戸、1031棟上流約143戸、浸水被害2,196戸)
- 令和6年度実施内容: 護岸工事等

流域治水



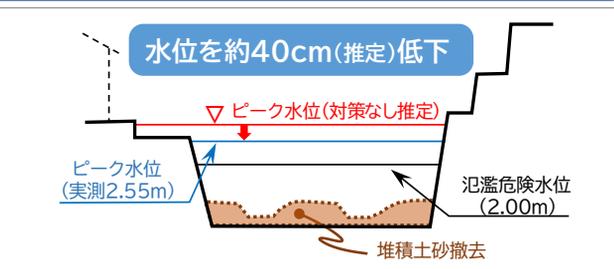
集中的に河川整備を実施する箇所

II 流下能力向上・持続化対策

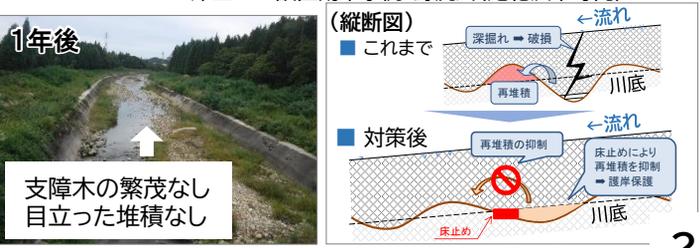
- 平成24年度から堆積土砂や支障木の計画的な撤去に着手
- 令和4年度からは**緊急浚渫推進事業債・緊急自然災害防止対策事業債**を活用し、令和7年度までの4か年で**計画的・集中的な対策**を実施



堆積土砂や支障木の撤去による治水効果事例:前川(上山市北町)令和2年7月豪雨



- 計画目標(流下能力向上対策区間230km)に対して令和5年度までに**約150km(65%)実施**
- 近年の豪雨による土砂流出に伴う**再堆積**を抑制するため、**床止め工を設置**(令和5年度までに25基)
- 対策後はドローン等を活用し**モニタリング(経過観察)**を行い事業効果を検証

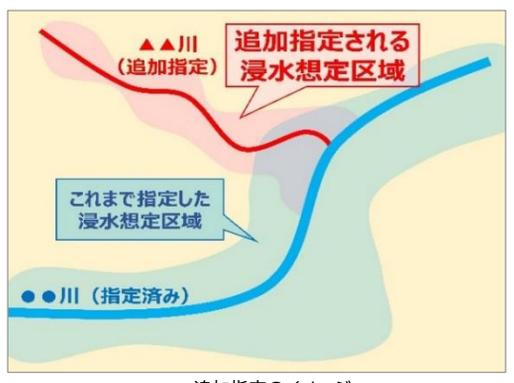


III 水害リスク情報空白域の解消(洪水浸水想定区域の追加指定)

洪水浸水想定区域を指定していない河川において、近年氾濫による浸水被害が全国各地で発生!!!

- ▶ 政府は令和3年水防法を改正し、洪水浸水想定区域の指定対象を**全ての一級・二級河川に拡大**
 - ▶ 県は未指定484河川を追加指定し、市町村へ提供
(市町村はハザードマップにより住民へ周知)
- 村山地域は令和6年6月14日に指定**
- その他は令和7年3月指定予定**

▼ 県ホームページに掲載する洪水浸水想定区域図はQRコードからアクセス可能



追加指定のイメージ

IV 可搬式排水ポンプの配備

県では河川氾濫や内水による浸水被害軽減のため、**可搬式排水ポンプ**を県内7公所に**計9台配備**

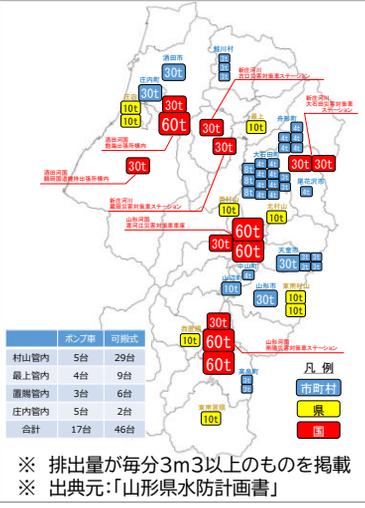
- ▶ 公所間での広域派遣や市町村要請を受けた出動も可能



可搬式排水ポンプ(資機材一体化)



R4稼働状況(黒川:川西町黒川)



県内(国・県・市町村)の配備状況

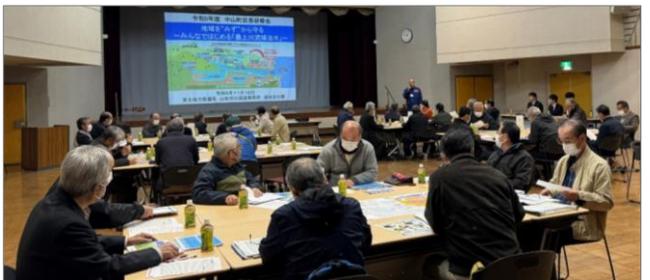
V 水害リスクの自分事化

- ▶ 防災教育を推進するため、**職員出前講座**を開催



令和5年9月7日 山形大学附属特別支援学校

- ▶ 県民一人ひとり**防災行動計画(マイ・タイムライン)**の作成支援



令和5年11月18日 中山町

VI 特定都市河川の指定(石子沢川流域(中山町・山辺町))

- 石子沢川流域は市街化が進展し、河道拡幅が困難な河川
- 令和2年7月豪雨や令和4年8月大雨で浸水被害が発生

- ▶ 国土交通省が特定都市河川に**指定**(令和6年3月)

- ▶▶ 法的枠組みを活用した「**流域治水**」の本格実践
- ▶▶ 具体的な対策は国・県・市町等が協働して「**流域水害対策計画**」で策定(今年度予定)



「流域水害対策協議会」発足 令和6年4月24日



石子沢川における流域水害対策のイメージ



雨水貯留浸透施設の整備



ワンコイン浸水センサ